

年末年始期間の貨物列車の運転について

平成28年12月13日

当社では、例年ゴールデンウィーク・年末年始等の長期休暇期間については、ご利用頂いている各企業の休業状況等を鑑み、貨物列車の運転計画を策定しています。

一方、トラックドライバー不足の解消や、CO2削減といった環境への配慮に取り組んでいる企業による鉄道へのモーダルシフトの動きが表れており、11月の輸送実績は対前年102.6%で推移しています

そこでこれらの状況を鑑み、今年度の年末年始期間(12月27日(火)～1月5日(木))について、12月27日(火)までは通常通りの運転とし、28日(水)は全国で通常本数の77%の列車を運転するほか、29日(木)、30日(金)も一部の列車を運転することといたしました。また年始については1月4日(水)より運転を行い、5日(木)の午後からはほぼ通常通りの運転としています。これは直近の同曜日配列である平成23年度と比較すると12フィートコンテナ換算で約4,900個増強となります。

期間中の運転本数および主な運転区間は以下の通りです。

1. 期間中貨物列車運転本数(12月27日～1月5日)

	コンテナ	車扱	合計
本年計画	588本	195本	783本
前年実績	616本	202本	818本
平成23年(※)	534本	298本	832本
対前年	95.5%(▲28本)	96.5%(▲7本)	95.7%(▲35本)
対平成23年	110.1%(+54本)	65.4%(▲103本)	94.1%(▲49本)

※平成23年度は本年度と同曜日配列の年度となります。

2. 12月30日まで貨物列車の運転を行う区間

区間	列車本数	途中停車駅
東京→福岡	2本	
福岡(北九州)→東京(越谷)	4本	広島(夕)、姫路貨物、静岡貨物、横浜羽沢、新座(夕)
東京→札幌	2本	仙台(夕)、苫小牧貨物
札幌→東京	1本	函館貨物、宇都宮(夕)
名古屋→札幌	1本	静岡貨物、仙台(夕)、盛岡(夕)
岡山→東京	1本	神戸(夕)、静岡貨物

※以上は12月12日時点の情報のため、変更となることもあります。

